

## 2004年3月号 国際通貨基金と世界銀行

NI No.365 March 2004  
IMF and World Bank

< 内容 >  
(本文は英語です)

### 権力と愚行

21世紀の植民地行政官、IMFと世界銀行の軌跡とその影響。

### 不安定化する世界

経済の「調整」に対する抵抗は年々大きくなっている。抵抗の世界地図は物語る。

### 主治医はやぶ医者だった

元世界銀行チーフエコノミスト、ジョセフ・スティグリッツへのインタビュー。

### 適材適所？

未熟な世銀コンサルタント達の投入で巻き起こる、東欧・旧ソビエト連邦のさらなる混乱。

### IMF / 世界銀行 その事実

#### 世界に広がるグリーンウォッシュ

世界銀行の環境政策は、時代の要請に沿ってすでに変化した... この世界銀行の主張は正しいのか？

#### ふたつの塔

世界銀行の魔術師ガンドルフの迷いと世界の現状をコミックで描く。

#### 拒否された厳しい処方箋

構造調整プログラムのレビューを世界銀行と協力して行ったSAPRINネットワーク。しかし、世界銀行はその結果を受け入れることを拒み続けている。

#### 自らの構造調整を進めよ

世界銀行とIMFに構造調整プログラムを適用すれば、世界の貧困削減に大きく寄与するに違いない。

#### 想像してみよう

IMFと世界銀行の無い世の中。どうやったら実現できるのか？

#### アクション

行動するための情報源。

\*\*\*その他、世界の情勢を伝えるニュースやレポートも掲載\*\*\*



世界銀行と国際通貨基金(IMF)を後に生み出すこととなった、歴史的なブレトンウッズ会議。その会議がニューハンプシャーで開かれてから60年が経った。ますます多くの人々が、グローバル経済における世界銀行とIMFの役割に対して批判的になってきている。欠陥だらけの経済改革を押し付けられた「開発途上の国々」では、多数の人々が破滅的な状況に追い込まれ、その上債務危機がまだかつてないほど深刻になっている。はたして、世界銀行とIMFを改革することは可能なのか？ もしも世界銀行とIMFが存在しなかったら、そこにはどのような世界が広がるのだろうか？

NI-Japan No.53 2004年3月号  
国際通貨基金と世界銀行

< 内容 >  
(本文は日本語、一部英語です)

### < 今月のNI本誌記事の翻訳 >

権力と愚行 (NI p9-11)

IMF / 世界銀行 その事実  
(NI p18-19の一部翻訳)

### < Reporting from Japan >

IMFと世界銀行～日本のかわりを知っていますか？

(アジア太平洋資料センター 普川容子)

### < Contact Points >

IMFと世界銀行に関して活動するNGOの情報と、両機関をもっと良く知るための書籍について。

### < Country Profile >

「世界の国のプロフィール - イエメン」  
(NI本誌p36の翻訳)



NI (英語版、A4サイズカラー、約40ページ) と日本編集のNI-Japan(日本語、A4サイズモノクロ、12ページ)をセットでお届けします。

【年間購読(1・2月号は合併号のため年11回発行)】

1年間 10,500円(送料、消費税込み)

2年間 19,000円(送料、消費税込み)

【お試用最新号またはバックナンバー】

1,000円(送料、消費税込み)

\* ホームページでは、購読お申し込みやバックナンバー照会、無料メールマガジン申し込み等がご利用頂けます。



< お問い合わせ・お申し込み >

有限会社インティリンクス

〒193-0843 東京都八王子市甘里町46-2

Tel / Fax : 0426-29-4863

E-mail : info@ni-japan.com

URL http://www.ni-japan.com/